



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 タカラバイオ株式会社

コード番号 4974 URL http://www.takara-bio.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仲尾 功一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 松崎 修一郎 TEL 077-565-6970

四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	25,888	14.3	3,432	113.4	3,549	101.4	2,088	95.4
2018年3月期第3四半期	22,646	9.7	1,608	△41.0	1,762	△38.6	1,068	△31.5

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 1,776百万円 (118.8%) 2018年3月期第3四半期 811百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	17.35	-
2018年3月期第3四半期	8.88	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	70,705	63,193	89.2	523.97
2018年3月期	68,670	61,959	90.1	513.66

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 63,094百万円 2018年3月期 61,852百万円

(注) 2019年3月期の期首より「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等の適用による表示方法の変更を行いましたため、2018年3月期の連結財政状態は、当該変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	-	0.00	-	4.50	4.50
2019年3月期	-	0.00	-	-	-
2019年3月期（予想）	-	-	-	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,800	10.8	5,200	46.2	5,400	39.8	3,150	34.9	26.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	120,415,600株	2018年3月期	120,415,600株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	-株	2018年3月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	120,415,600株	2018年3月期3Q	120,415,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する適切な利用に関する説明、その他特記事項）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報	12
(1) 経営管理上重要な指標の推移	12
(2) 連結比較損益計算書	13
(3) 連結業績予想に関する比較損益計算書	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の回復や企業収益の改善により、緩やかな回復が続いていますが、米中の貿易摩擦拡大や金融資本市場の変動等の影響により、依然として先行きは不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは、2018年3月期よりスタートした3ヵ年の中期経営計画「タカラバイオ中期経営計画2019」において、「〈バイオ産業支援事業〉、〈遺伝子医療事業〉、〈医食品バイオ事業〉の3つの事業部門戦略の推進とこれを支える経営基盤を強化し、グローバル企業かつ再生医療等製品企業としてのプレゼンスを向上させ、飛躍的な成長を目指す」ことを全体方針とし、上方修正した最終年度営業利益目標6,000百万円を実現するための取り組みを推進いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、主力の研究用試薬が前年同期比で増加したことに加え、日本におけるNY-ESO-1・siTCR®遺伝子治療薬およびCD19・CAR遺伝子治療薬に関する共同開発・独占販売契約にかかる対価料の受領等により25,888百万円(前年同期比114.3%)と増収となりました。売上原価は、売上高の増加により10,947百万円(前年同期比110.8%)となりましたので、売上総利益は、14,940百万円(前年同期比117.0%)となりました。販売費及び一般管理費は、人件費等が増加し、11,507百万円(前年同期比103.1%)となりましたが、営業利益は、3,432百万円(前年同期比213.4%)と増益となりました。

営業利益の増益にともない、経常利益は、3,549百万円(前年同期比201.4%)、税金等調整前四半期純利益は、2,703百万円(前年同期比155.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,088百万円(前年同期比195.4%)と増益となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

[バイオ産業支援]

バイオテクノロジー関連分野の研究開発活動がますます広がりを見せるなか、当社グループは、こうした研究開発活動を支援する製品・商品やサービスを中心に展開する当事業をコアビジネスと位置づけております。

当第3四半期連結累計期間は、主力の研究用試薬をはじめ、受託サービスおよび理化学機器の売上高が前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は、21,984百万円(前年同期比107.7%)と増収となりました。売上総利益は、売上高の増加により12,691百万円(前年同期比107.7%)となりました。販売費及び一般管理費は、人件費等の増加により8,553百万円(前年同期比105.8%)となりましたが、営業利益は、4,138百万円(前年同期比112.0%)と増益となりました。

[遺伝子医療]

当事業では、がん等の疾患を対象とし、腫瘍溶解性ウイルスcanerpaturev(略称C-REV、旧称HF10)や、独自技術である高効率遺伝子導入技術レトロネクチン法、高効率リンパ球増殖技術であるレトロネクチン拡大培養法、siTCR®技術を使用した、遺伝子改変T細胞療法等の遺伝子治療法の開発を進めております。

当第3四半期連結累計期間は、日本におけるNY-ESO-1・siTCR®遺伝子治療薬およびCD19・CAR遺伝子治療薬に関する共同開発・独占販売契約にかかる対価料および本契約にもとづく治験製品等の売上高を計上いたしました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は、2,304百万円(前年同期比460.9%)と増収となり、売上総利益は、1,886百万円(前年同期比377.3%)となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費の減少により1,000百万円(前年同期比76.8%)となり、営業利益は、885百万円(前年同期営業損失802百万円)と大幅に改善いたしました。

[医食品バイオ]

当事業では、当社グループ独自の先端バイオテクノロジーを駆使して食物の科学的根拠を明確にした機能性食品素材の開発、製造および販売を行っており、ガゴメ昆布フコイダン関連製品、寒天アガロオリゴ糖関連製品、明日葉カルコン関連製品、ボタンボウフウイソサミジン関連製品、ヤマイモヤムスゲニン関連製品およびキノコ関連製品等を中心に事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間は、健康食品関連製品およびキノコ関連製品の売上高がいずれも前年同期比で減少いたしました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は、1,599百万円(前年同期比91.9%)と減収となり、売上総利益は、361百万円(前年同期比75.0%)となりました。販売費及び一般管理費は、販売促進費等の減少により365百万円(前年同期比98.4%)となりましたものの、営業損失3百万円(前年同期営業利益110百万円)となりました。

なお、当事業のうち健康食品にかかる事業は、2019年1月1日を効力発生日として会社分割(吸収分割)の方法によりシオノギヘルスケア株式会社へ承継いたしました。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(重要な後発事象)」に記載のとおりであります。

また、当事業のうちキノコにかかる事業は、2019年3月1日を効力発生日(予定)として株式会社雪国まいたけへ事業譲渡することを決議し、2018年12月17日に事業譲渡契約を締結いたしました。概要は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(追加情報)」に記載のとおりであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、70,705百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,034百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少992百万円や無形固定資産の減少940百万円があったものの、商品及び製品等のたな卸資産の増加2,062百万円や建設仮勘定の増加2,335百万円があったことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、7,511百万円となり、前連結会計年度末に比べて799百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加245百万円や流動負債のその他に含まれる前受金の増加536百万円があったことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、63,193百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,234百万円増加いたしました。これは主に、為替換算調整勘定の減少324百万円があったものの、利益剰余金の増加1,546百万円があったことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,147百万円の収入となり、前年同期に比べて3,560百万円の収入増加となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の増加961百万円やその他の流動負債の減少による支出が932百万円減少したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,546百万円の支出となり、前年同期に比べて9,601百万円の支出減少となりました。これは主に、前年同期に発生した連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出12,396百万円がなくなったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、541百万円の支出となり、前年同期に比べて525百万円の支出減少となりました。これは主に、前年同期に発生した社債の償還による支出546百万円がなくなったことによるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めた当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、10,077百万円となり、前連結会計年度末より26百万円の増加となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年11月6日の第2四半期決算短信で公表いたしました業績予想および配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2019年1月30日)公表いたしました「業績予想の修正および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,537	18,183
受取手形及び売掛金	8,031	7,039
有価証券	2,000	2,000
商品及び製品	4,484	5,524
仕掛品	334	973
原材料及び貯蔵品	1,192	1,575
その他	978	882
貸倒引当金	△42	△46
流動資産合計	34,516	36,134
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,825	12,355
減価償却累計額	△5,611	△5,806
建物及び構築物(純額)	7,214	6,549
機械装置及び運搬具	7,561	7,152
減価償却累計額	△5,360	△5,346
機械装置及び運搬具(純額)	2,201	1,805
工具、器具及び備品	7,080	7,362
減価償却累計額	△4,613	△5,069
工具、器具及び備品(純額)	2,466	2,292
土地	6,588	6,379
リース資産	16	16
減価償却累計額	△16	△16
リース資産(純額)	-	-
建設仮勘定	63	2,398
有形固定資産合計	18,534	19,426
無形固定資産		
のれん	8,259	7,910
その他	5,903	5,312
無形固定資産合計	14,163	13,222
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,456	1,920
投資その他の資産合計	1,456	1,920
固定資産合計	34,154	34,570
資産合計	68,670	70,705

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,875	2,120
未払法人税等	431	478
引当金	333	505
その他	3,104	3,463
流動負債合計	5,745	6,567
固定負債		
退職給付に係る負債	659	670
その他	307	273
固定負債合計	966	943
負債合計	6,711	7,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,965	14,965
資本剰余金	32,893	32,893
利益剰余金	12,285	13,832
株主資本合計	60,144	61,691
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,042	1,717
退職給付に係る調整累計額	△334	△314
その他の包括利益累計額合計	1,707	1,402
非支配株主持分	106	99
純資産合計	61,959	63,193
負債純資産合計	68,670	70,705

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	22,646	25,888
売上原価	9,879	10,947
売上総利益	12,766	14,940
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	2,744	3,062
退職給付費用	133	130
研究開発費	3,417	3,164
引当金繰入額	120	250
その他	4,742	4,899
販売費及び一般管理費合計	11,157	11,507
営業利益	1,608	3,432
営業外収益		
受取利息	55	63
為替差益	38	-
補助金収入	51	52
不動産賃貸料	65	67
その他	24	16
営業外収益合計	236	201
営業外費用		
支払利息	18	-
為替差損	-	45
不動産賃貸費用	22	28
休止固定資産費用	40	7
その他	1	3
営業外費用合計	82	84
経常利益	1,762	3,549
特別利益		
固定資産売却益	0	0
災害保険金収入	-	54
特別利益合計	0	55
特別損失		
固定資産除売却損	20	72
減損損失	-	696
災害による損失	-	131
特別損失合計	20	900
税金等調整前四半期純利益	1,742	2,703
法人税、住民税及び事業税	555	1,107
法人税等調整額	119	△494
法人税等合計	674	612
四半期純利益	1,067	2,091
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,068	2,088

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	1,067	2,091
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△295	△335
退職給付に係る調整額	39	19
その他の包括利益合計	△255	△315
四半期包括利益	811	1,776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	813	1,784
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,742	2,703
減価償却費	1,896	2,014
減損損失	-	696
その他の償却額	106	118
のれん償却額	364	374
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	12	4
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△382	168
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	33	10
受取利息	△55	△63
支払利息	18	-
固定資産除売却損益 (△は益)	20	71
災害損失	-	131
売上債権の増減額 (△は増加)	584	926
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,508	△2,326
仕入債務の増減額 (△は減少)	△133	308
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△1,029	△97
その他	△157	△63
小計	1,512	4,978
利息及び配当金の受取額	74	63
利息の支払額	△0	-
法人税等の支払額	△999	△894
営業活動によるキャッシュ・フロー	587	4,147
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,127	△6,930
定期預金の払戻による収入	6,596	6,173
有価証券の取得による支出	-	△2,000
有価証券の売却及び償還による収入	-	2,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△909	△3,242
有形及び無形固定資産の売却による収入	457	6
その他償却資産の取得による支出	△48	△84
事業譲渡による収入	-	525
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△12,396	-
その他	281	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,147	△3,546
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△13	-
社債の償還による支出	△546	-
配当金の支払額	△480	△541
リース債務の返済による支出	△26	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,067	△541
現金及び現金同等物に係る換算差額	△217	△33
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△13,845	26
現金及び現金同等物の期首残高	22,200	10,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,355	10,077

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(事業譲渡契約の締結)

当社は、2018年12月17日開催の取締役会において、2019年3月1日を効力発生日(予定)として、当社グループが行うキノコにかかる事業を、株式会社雪国まいたけへ譲渡することを決議し、2018年12月17日に事業譲渡契約を締結いたしました。

事業譲渡契約の概要は、次のとおりであります。

①事業譲渡の理由

当社グループの経営資源のより一層の選択と集中をはかり、企業価値向上をはかるため

②事業譲渡の内容

- ・瑞穂農林株式会社の当社保有全株式
- ・株式会社きのこセンター金武の当社保有全株式
- ・当社が保有するキノコにかかる事業に関する知的財産

③譲渡する相手先の名称

株式会社雪国まいたけ

④事業譲渡日(効力発生日)

2019年3月1日(予定)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	バイオ産業 支援	遺伝子 医療	医食品 バイオ	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	20,405	500	1,740	22,646	-	22,646
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	5	5	△5	-
計	20,405	500	1,745	22,651	△5	22,646
セグメント利益または 損失(△)	3,696	△802	110	3,004	△1,395	1,608

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△1,395百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「バイオ産業支援」セグメントにおいて、当社の100%子会社であるTakara Bio USA Holdings Inc.がWaferGen Bio-systems, Inc.およびRubicon Genomics, Inc.の株式を取得したことにより、のれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては7,713百万円であります。なお、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	バイオ産業 支援	遺伝子 医療	医食品 バイオ	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	21,984	2,304	1,599	25,888	-	25,888
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-	-
計	21,984	2,304	1,599	25,888	-	25,888
セグメント利益または 損失(△)	4,138	885	△3	5,020	△1,587	3,432

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△1,587百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医食品バイオ」セグメントにおいて、遊休化が見込まれる当該事業用資産および事業譲渡予定資産にかかる減損損失を特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては696百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(健康食品事業の事業分離)

当社は、2019年1月1日を効力発生日として、当社グループが行う健康食品事業を、会社分割(吸収分割)の方法によりシオノギヘルスケア株式会社(以下、「シオノギヘルスケア社」という。)へ承継いたしました。

1. 事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称および事業の内容

- ① 分離先企業の名称 シオノギヘルスケア株式会社
② 分離した事業の内容 健康食品事業

(2) 事業分離を行った主な理由

当社グループでは、2018年3月期からスタートした3ヵ年の経営計画「タカラバイオ中期経営計画2019」に取り組んでおります。この計画では、「〈バイオ産業支援事業〉、〈遺伝子医療事業〉、〈医食品バイオ事業〉の3つの事業部門戦略の推進とこれを支える経営基盤を強化し、グローバル企業かつ再生医療等製品企業としてのプレゼンスを向上させ、飛躍的な成長を目指す」ことを全体方針としております。

このような計画のもと当社グループでは、成長戦略に即し、業務を推進してまいりましたが、直近の計画の進捗状況を鑑み、一層の経営資源の選択と集中を行い、計画を確実に達成し、企業価値を向上させることが重要であると考えに至りました。このような理由から、健康食品事業においては、これまでに蓄積した研究成果等の事業資産を最大限に活用し事業を継続いただける譲渡先を検討してまいりましたが、塩野義製薬グループのシオノギヘルスケア社においては、健康食品事業強化を掲げていたため、同社を交渉先とし、当社の健康食品事業の承継を両社で検討したところ、両社の戦略が一致し、このたびの会社分割による組織再編を行うことといたしました。

(3) 事業分離日

2019年1月1日

(4) 法的形式を含むその他の取引の概要に関する事項

当社を分割会社とし、シオノギヘルスケア社を承継会社とする吸収分割であります。なお、受取対価は現金のみであります。

2. 実施した会計処理の概要

(1) 移転損益の金額(予定)

事業譲渡益 71百万円

(2) 移転した事業にかかる資産および負債の適正な帳簿価額ならびにその主な内訳(予定)

流動資産	400	百万円
固定資産	143	
資産合計	544	
流動負債	11	
固定負債	0	
負債合計	11	

(3) 会計処理

移転したことにより受け取った対価となる現金と、移転した事業にかかる株主資本相当額との差額から事業分離に要した費用を控除して、移転損益として認識しております。

3. 分離した事業が含まれていた報告セグメント

医食品バイオ事業

4. 四半期連結累計期間にかかる四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業にかかる損益の概算額

売上高 409百万円
営業利益 9百万円

3. 補足情報

(1) 経営管理上重要な指標の推移

① キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	2018年3月期 第3四半期連結累計期間 自2017年4月1日 至2017年12月31日	2019年3月期 第3四半期連結累計期間 自2018年4月1日 至2018年12月31日	2018年3月期 自2017年4月1日 至2018年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	587	4,147	3,935
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,147	△3,546	△14,755
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,067	△541	△1,205

② 地域別売上高

(単位：百万円)

	2018年3月期 第3四半期連結累計期間 自2017年4月1日 至2017年12月31日	2019年3月期 第3四半期連結累計期間 自2018年4月1日 至2018年12月31日	2018年3月期 自2017年4月1日 至2018年3月31日
日本	9,674	11,303	14,266
米国	5,354	6,033	7,240
中国	3,922	4,547	5,524
日本・中国除くアジア	1,313	1,469	1,754
欧州	2,203	2,351	3,257
その他	178	181	268
合計	22,646	25,888	32,312

③ 報告セグメントごとの研究開発費

(単位：百万円)

	2018年3月期 第3四半期連結累計期間 自2017年4月1日 至2017年12月31日	2019年3月期 第3四半期連結累計期間 自2018年4月1日 至2018年12月31日	2018年3月期 自2017年4月1日 至2018年3月31日
バイオ産業支援	2,015	2,021	2,693
遺伝子医療	1,287	988	1,804
医食品バイオ	5	-	6
全社共通	108	155	148
合計	3,417	3,164	4,653

(2) 連結比較損益計算書

(百万円未満切捨て)

	2018年3月期 第3四半期 連結累計期間実績	2019年3月期 第3四半期 連結累計期間実績	前期比 増減	前期比 比率
(売上高)				
研究用試薬	15,663	17,093	1,430	109.1%
理化学機器	1,890	1,907	17	100.9%
受託サービス	2,441	2,647	206	108.5%
その他	411	335	△75	81.7%
バイオ産業支援計	20,405	21,984	1,578	107.7%
遺伝子医療	500	2,304	1,804	460.9%
健康食品	533	409	△124	76.7%
キノコ	1,206	1,189	△17	98.6%
医食品バイオ計	1,740	1,599	△141	91.9%
売上高計	22,646	25,888	3,242	114.3%
(営業損益)				
売上高	22,646	25,888	3,242	114.3%
売上原価	9,879	10,947	1,068	110.8%
売上総利益	12,766	14,940	2,174	117.0%
販売費一般管理費	11,157	11,507	350	103.1%
運送費	469	514	45	109.6%
宣伝費	59	38	△20	65.2%
促進費	581	544	△37	93.6%
研究開発費	3,417	3,164	△252	92.6%
管理費、その他	6,466	7,019	552	108.5%
事業税(外形基準)	162	225	63	138.7%
営業利益	1,608	3,432	1,823	213.4%
(営業外損益)				
営業外収益	236	201	△34	85.3%
営業外費用	82	84	2	102.7%
経常利益	1,762	3,549	1,786	201.4%
(特別損益)				
特別利益	0	55	54	19,486.6%
特別損失	20	900	880	4,347.3%
税金等調整前四半期純利益	1,742	2,703	961	155.2%
法人税等	674	612	△62	90.7%
四半期純利益	1,067	2,091	1,024	196.0%
非支配株主に帰属する四半期純利益	△1	3	4	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,068	2,088	1,019	195.4%
減価償却費(有形・無形)	1,896	2,014	117	106.2%
のれん償却額	364	374	9	102.7%

セグメント別損益(営業利益)

	2018年3月期 第3四半期 連結累計期間実績	2019年3月期 第3四半期 連結累計期間実績	前期比 増減	前期比 比率
バイオ産業支援	3,696	4,138	442	112.0%
遺伝子医療	△802	885	1,688	-
医食品バイオ	110	△3	△114	-
全社(共通)	△1,395	△1,587	△192	-
計	1,608	3,432	1,823	213.4%

(3) 連結業績予想に関する比較損益計算書

(百万円未満切捨て)

	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期前回予想	2019年3月期 通期今回予想	前期比 増減	前期比 比率	前回予想比 増減	前回予想比 比率
(売上高)							
研究用試薬	22,207	23,509	23,703	1,495	106.7%	193	100.8%
理化学機器	2,635	2,680	2,587	△47	98.2%	△92	96.5%
受託サービス	4,210	4,558	4,727	516	112.3%	169	103.7%
その他	514	500	462	△52	89.9%	△38	92.4%
バイオ産業支援計	29,568	31,249	31,481	1,912	106.5%	231	100.7%
遺伝子医療	500	2,590	2,438	1,938	487.8%	△151	94.1%
健康食品	693	398	409	△283	59.1%	10	102.7%
キノコ	1,550	1,560	1,469	△80	94.8%	△90	94.2%
医食品バイオ計	2,243	1,959	1,879	△364	83.7%	△80	95.9%
売上高計	32,312	35,800	35,800	3,487	110.8%	-	100.0%
(営業損益)							
売上高	32,312	35,800	35,800	3,487	110.8%	-	100.0%
売上原価	13,657	14,890	14,934	1,277	109.4%	44	100.3%
売上総利益	18,655	20,909	20,865	2,209	111.8%	△44	99.8%
販売費一般管理費	15,099	15,909	15,665	565	103.7%	△244	98.5%
運送費	643	734	692	49	107.7%	△42	94.2%
宣伝費	83	55	56	△26	67.9%	0	101.0%
促進費	729	735	713	△15	97.9%	△21	97.1%
研究開発費	4,653	4,555	4,472	△181	96.1%	△83	98.2%
管理費、その他	8,750	9,533	9,444	693	107.9%	△89	99.1%
事業税(外形基準)	239	294	285	46	119.4%	△8	97.0%
営業利益	3,555	5,000	5,200	1,644	146.2%	200	104.0%
(営業外損益)							
営業外収益	402	331	297	△104	74.1%	△33	89.8%
営業外費用	96	131	97	1	102.0%	△33	74.3%
経常利益	3,861	5,200	5,400	1,538	139.8%	200	103.8%
(特別損益)							
特別利益	0	69	125	125	16,289.7%	56	181.1%
特別損失	501	751	912	410	181.9%	160	121.4%
税金等調整前当期純利益	3,361	4,518	4,613	1,252	137.3%	95	102.1%
法人税等	1,023	1,410	1,441	418	140.9%	31	102.2%
当期純利益	2,338	3,108	3,172	833	135.7%	63	102.1%
非支配株主に帰属 する当期純利益	3	8	22	19	723.2%	13	269.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,335	3,100	3,150	814	134.9%	50	101.6%
減価償却費(有形・無形)	2,568	2,724	2,703	134	105.2%	△21	99.2%
のれん償却額	489	500	502	13	102.7%	2	100.4%

セグメント別損益(営業利益)

	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期前回予想	2019年3月期 通期今回予想	前期比 増減	前期比 比率	前回予想比 増減	前回予想比 比率
バイオ産業支援	6,683	6,778	6,959	276	104.1%	180	102.7%
遺伝子医療	△1,322	442	398	1,721	-	△43	90.1%
医食品バイオ	107	25	26	△80	24.6%	0	103.7%
共通	△1,912	△2,247	△2,185	△272	-	62	-
計	3,555	5,000	5,200	1,644	146.2%	200	104.0%